日刊
人事通信
發行所　東京市京橋區北槇町一〇
日刊　人事通信社
振替東京　七六二一三番
電話京橋　六一七、二六五六

野田爭議、遂に政治問題となる

總同盟から民政黨に條件附で賣込む

總同盟政治部長赤松克麿氏は本田貞次郎氏の手を通じ民政黨に野田爭議の應援方を依頼したといふ、而してその條件として傳ふるところに依れば來るべき總選擧に際して社會民衆黨は反政府熱を鼓吹し黨員全體擧つて民政黨候補者に投票するといふにあるが果して民政黨がこの申し出でを受け入るゝかどうか、帝國議會に絶對多數を擁すと豪語する大政黨が果して野田爭議に應援し何等かのくちばしを入れ得るかどうか

巧みにとらへたいざこざばなし

それから思ひついた爭議團側の大芝居

右につき某消息通は語る『野田醬油會社の茂木家一族が今回の爭議を徹底的に解決する決心をかためて岩崎清七氏の手を通じ現當局に豫め諒解を求めたといふ話が傳へられたことがある』或は偶〻京成電車を敷設する際に當り民政黨の本田貞次郎氏（京成電車社長）と妙ないざこざがあり爾來茂木家と本田氏との間にそりの合はない點が多々あるので自然黨派的に見たり考へたりする

[illegible]乎たる[illegible]なるに者でない通信省管内の雇員といへど同樣である

何も彼も事實だ

脱退組の話

野田爭議勃發以來社會民衆黨の高橋尚氏が野田に滯在し、關東釀造勞働組合長小泉七藏、同組合野田支部書記山口六市兩氏と種々

劃策し　解雇せられた野田支部長小岩井相助、同理事堀越稲男、寺田源太郎、川口源太郎、山口彪、杉崎喜一郎、猪狩爲助、木下宰次郎等の所謂幹部連を驅使して、對策を講じてゐたこと、會社側の強固なる態度に手も足も出ず却て自らの不明と

非行の　數々を暴露するに至つたこと、それから將來の立場と生活の糧をは今後も永久に失はざらんことを顧慮し、爭議の責任一切をあけて、組合の母體たる關東勞働同盟に巧に轉嫁し、洵に結構至極な通報まで發せしめたといふこと等を思ひめぐらせは或はこれ等の傳聞の一切が事實に近いもの否事實として充分受け取れるのである

歸らぬ者は解雇す

目限まで

會社側愈よ腹を定む